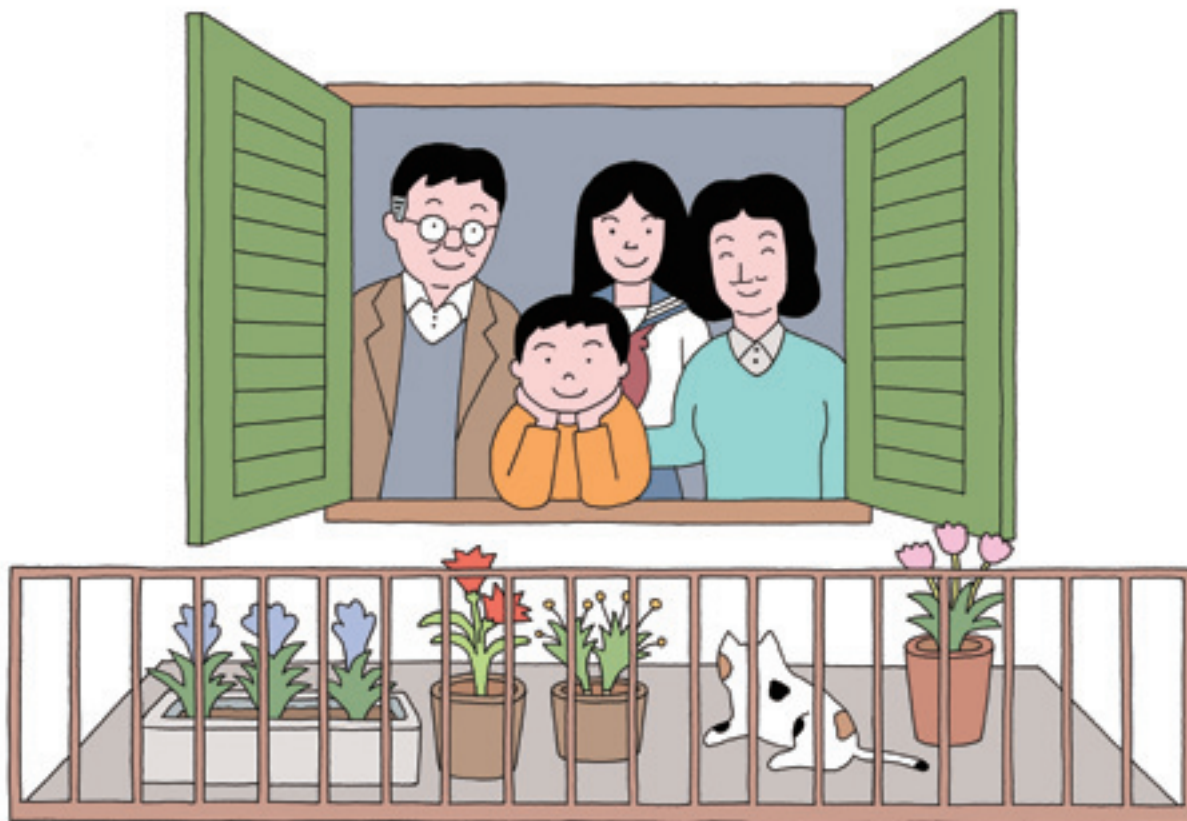


●株主のみなさまへ●

# 第148期のご報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日



 日本新薬株式会社

日本新薬企業スローガン

# 健康未来、創ります。

日本新薬は、医薬品や  
機能食品の研究開発を通じ、  
長くなった人生を  
「穏り多く」「健やかに」「いきいき」と  
過ごせるよう、  
“健康寿命”の延長をめざします。



表紙のイラスト 和田 誠

## Contents

株主のみなさまへ	2
当期の概況	3
主力製品売上高	4
製品開発状況	5-6
連結財務諸表	7-8
財務諸表(個別)	9
株式の状況	10
ニュース	11-12
会社概要 / 役員	13
株主メモ	14

## 株主のみなさまへ

この度の東日本大震災により被災された株主ならびに関係者のみなさまには、お見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、当期の日本経済は、企業業績は緩やかに回復基調にあったものの、厳しい雇用情勢や円高の影響により、引き続き厳しい状況にありました。さらに平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、先行きの見えないまま年度末を迎えました。

医薬品業界においては平成22年4月の業界平均6.5%の薬価基準引下げや後発品処方促進策等、医療費抑制のための諸施策が引き続き推進され、食品業界においては引き続き低価格志向の動きが激しく、それぞれ厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当企業集団の業績は、工業所有権等収益の大幅な減少があったものの、医薬品事業においては新製品等が、機能食品事業においては主力製品がそれぞれ伸長し、売上高は635億2千5百万円と対前期比0.9%の増収となりました。利益面では、工業所有権等収益の減収に加え、研究開発費の増加により、営業利益は51億8千1百万円（対前期比19.8%減益）、経常利益は54億7千7百万円（対前期比19.3%減益）、当期純利益は39億5千8百万円（対前期比3.4%減益）となりました。

今後も引き続き、「人々の健康と豊かな生活創りに貢献する」という経営理念の下に、社会から信頼される「存在意義のある会社」を目指して事業活動を推進する所存であります。

今後とも株主のみなさまの変わらぬご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
前川 重信

平成23年6月

## 当期の概況

当企業集団の売上高は635億2千5百万円(対前期比0.9%増収)、営業利益は51億8千1百万円(対前期比19.8%減益)、経常利益は54億7千7百万円(対前期比19.3%減益)、当期純利益は39億5千8百万円(対前期比3.4%減益)となりました。

医薬品事業では、工業所有権等収益が前期比18億7千3百万円の減収、前立腺肥大症治療剤「エビプロスタット」、非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤「ハイペン」等の売上も減少しましたが、ED治療剤「シアリス」、平成22年12月に機能性月経困難症の効能を追加した「ルナベル」等の売上が伸長、肺動脈性肺高血圧症治療剤「アドシルカ」等の新製品の売上も寄与しました。その結果、売上高は525億5千4百万円と対前期比0.7%の増収となりました。

なお当期においては、平成22年9月にがん疼痛治

療剤「トラマールカプセル25mg」、「同50mg」、平成23年3月に骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ注射用100mg」を新発売いたしました。

機能食品事業では、加工食品業界、健康食品業界とも厳しい状況が続く中、調味・香辛料は減少し、ニュートリション素材は微減となりましたが、健康食品素材、品質安定保存剤は伸長し、たん白製剤は堅調に推移しました。その結果、売上高は109億7千万円と対前期比1.9%の増収となりました。

### <設備投資の状況>

当期の設備投資額は11億8千5百万円で、主たる内容は製造設備、研究開発設備・機器への投資によるものです。

# 主力製品売上高

(百万円)

製品名	薬効	第2四半期累計		通期			
		H23年 3月期	H24年 3月期(予)	H22年 3月期	H23年 3月期	前年同期 増減率	H24年 3月期(予)
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	3,262	3,100	6,629	6,342	△4.3%	6,100
ハイペン	非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤	2,568	2,200	5,655	4,846	△14.3%	4,200
ガスロンN	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤	2,304	2,450	4,498	4,540	0.9%	4,900
ルナベル	月経困難症治療剤	1,493	1,800	2,085	3,107	49.0%	3,700
セレクトール	血管拡張性β1遮断薬	1,504	1,300	3,251	2,852	△12.3%	2,600
ブラダロン	頻尿治療剤	1,435	1,300	3,094	2,769	△10.5%	2,600
セファドール	抗めまい剤	1,400	1,350	2,858	2,696	△5.7%	2,600
シアリス	勃起不全(ED)治療剤	1,301	1,500	1,799	2,675	48.7%	3,200
キロサイド	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤	1,474	1,300	2,706	2,651	△2.0%	2,500
エストラサイト	前立腺癌治療剤	1,358	1,300	2,832	2,630	△7.1%	2,500
バイナス	アレルギー性鼻炎治療剤	783	1,050	2,237	2,610	16.7%	2,700
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	1,101	1,200	2,388	2,470	3.4%	2,600
リボスチン	アレルギー性鼻炎治療剤 アレルギー性結膜炎治療剤	276	350	1,221	1,920	57.2%	1,400
ビダーザ	骨髄異形成症候群治療剤	—	1,100	—	302	—	2,600
工業所有権等収益		30	50	1,996	123	△93.8%	100
ブルリフロキサシン原薬		427	300	1,296	982	△24.2%	850
医薬品計		<b>24,870</b>	<b>26,350</b>	<b>52,165</b>	<b>52,554</b>	<b>0.7%</b>	<b>55,400</b>
機能食品計		<b>5,528</b>	<b>5,550</b>	<b>10,767</b>	<b>10,970</b>	<b>1.9%</b>	<b>11,100</b>
売上高		<b>30,398</b>	<b>31,900</b>	<b>62,932</b>	<b>63,525</b>	<b>0.9%</b>	<b>66,500</b>

# 製品開発状況

## 〈国内開発状況〉

(平成23年5月12日現在)

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
PⅢ	NS-11 (アカンプロセート)	その他	アルコール依存症	導入:メルセロノ社(スイス)	自社
PⅢ	LY450190 (タダラフィル)	泌尿器系	前立腺肥大症に伴う排尿障害	導入:日本イーライリリー	日本イーライリリー
PⅢ	NS-315 (トラマドール塩酸塩)	炎症・アレルギー系	慢性非がん性疼痛	導入:グリュンター社(独)	自社
PⅡ/Ⅲ 準備中	ACT-064992 (マシテンタン)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	導入:アクテリオン社(スイス)	共同:アクテリオン・ジャパン
PⅡ	NS-304 (セレキシバグ)	循環代謝系	慢性血栓塞栓性肺高血圧症 肺動脈性肺高血圧症	自社	共同:アクテリオン・ジャパン
PⅡ	NST-141	炎症・アレルギー系	アトピー性皮膚炎に伴うそう痒	自社	共同:大鵬薬品工業
PⅠ	NS-24 (トラマドール塩酸塩)	炎症・アレルギー系	がん疼痛慢性非がん性疼痛	導入:ラボファーム社(カナダ)	自社

## 〈海外開発状況〉

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
発売準備中	NM441 (ブルリフロキサシン)	感染症	合成抗菌剤	自社	導出:柳韓洋行社(韓)
申請準備中					導出:オプティマー社(米)
PⅢ準備中					導出:リーズ・ファーマ社(香港)
PⅢ	NS-304 (セレキシバグ)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	自社	導出:アクテリオン社(スイス)
PⅡ	NS-187 (パフェチニブ)	血液がん	B細胞性慢性リンパ性白血病 進行性前立腺がん 慢性骨髄性白血病(PⅡ準備中) 多形性膠芽腫(PⅠ)	自社	導出:サイトレックス社(米)
PⅠ/Ⅱ 準備中	NS-018	血液がん	骨髄線維症	自社	自社

<b>フェーズ III</b>	
NS-11 (アカンプロセート)	メルクセローノ社(スイス)から導入したアルコール依存症治療剤で、既に欧米で発売済み。国内ではPⅢ試験を実施中であり、今年度末に申請予定。
LY450190(タダラフィル)	前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤で、国内は日本イーライリリーがPⅢ試験を実施中。
NS-304(海外) (セレキシパグ)	自社開発したプロドラッグ型経口剤で、活性代謝物が長時間血中に持続し、強力かつ選択的なPGI <sub>2</sub> アゴニスト活性を示す。肺高血圧症治療剤として、欧州医薬品局よりオーファン指定済み。導出先のアクテリオン社(スイス)が日本を除く全世界で肺動脈性肺高血圧症を対象としたPⅢ試験を実施中。
NS-315(トラマドール塩酸塩)	グリネンタール社(独)から導入した非麻薬性の経口鎮痛剤で、世界100か国以上で販売されている。慢性非がん性疼痛について、平成23年1月にPⅢ試験を開始した。
<b>フェーズ II/Ⅲ 準備中</b>	
ACT-064992(マシテンタン)	アクテリオン社より導入した肺動脈性肺高血圧症治療剤で、海外ではアクテリオン社がPⅢ試験を実施中である。国内は、今後、アクテリオン・ジャパンと共同でPⅡ/Ⅲ試験を開始する予定。マシテンタンはアクテリオン社で創製された高活性の組織特異的エンドセリン受容体デュアルアンタゴニスト。
<b>フェーズ II</b>	
NS-304(国内) (セレキシパグ)	国内は、アクテリオン・ジャパンとの共同開発。慢性血栓塞栓性肺高血圧症を対象としたPⅡ試験を実施中。また、肺動脈性肺高血圧症を対象としたPⅡ試験を平成23年5月に開始した。
NS-187(バフェチニブ)	Bcr-AblチロシンキナーゼとLynチロシンキナーゼを強力に阻害、イマチニブ耐性にも奏効する。導出先のサイトレックス社(米国)が、B細胞性慢性リンパ性白血病、進行性前立腺がんを対象としたPⅡ試験を実施中。また、慢性骨髄性白血病についてはPⅡ試験を準備中。多形性膠芽腫については平成23年2月に脳腫瘍患者を対象にPⅠ試験を開始した。
NST-141	自社開発した抗ヒスタミン作用ではない新規作用機序の外用剤で、既存の薬剤が奏効しない難治性のそう痒に対しても効果が期待できる。アトピー性皮膚炎に伴うそう痒を適応症として開発予定で、大鵬薬品工業と共同で平成23年2月にPⅡ試験を開始した。
<b>フェーズ I</b>	
NS-24(トラマドール塩酸塩)	ラボファーム社(カナダ)より導入した経口持続性鎮痛剤でトラマドール塩酸塩の1日1回製剤である。ラボファーム社の有する製剤技術(コントラミド)を使用した製剤で、服用後1時間で有効血中濃度に達し、24時間有効血中濃度を保つ。平成22年10月にPⅠ試験を開始した。
<b>フェーズ I/Ⅱ 準備中</b>	
NS-018	自社開発したJAK2チロシンキナーゼ阻害剤で、強力な阻害作用と活性型JAK2チロシンキナーゼに対する選択性が高いことから、有効性の向上と副作用の軽減が期待される。国内の患者数が少ないことから、海外での臨床試験を先行し、米国において骨髄線維症患者を対象としたPⅠ/Ⅱ試験を準備中。

# 連結財務諸表

## ● 連結貸借対照表

(百万円)

	前期 平成22年3月31日現在	当期 平成23年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>59,474</b>	<b>60,749</b>
現金及び預金	11,028	11,424
受取手形及び売掛金	24,817	27,573
有価証券	9,095	7,009
たな卸資産	10,865	11,547
繰延税金資産	1,631	1,518
その他	2,035	1,675
貸倒引当金	△0	△0
<b>固定資産</b>	<b>44,101</b>	<b>41,988</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>19,834</b>	<b>18,823</b>
建物及び構築物	8,672	8,224
機械装置及び運搬具	1,804	1,465
工具、器具及び備品	967	811
土地	8,160	8,118
建設仮勘定	230	203
<b>無形固定資産</b>	<b>644</b>	<b>672</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>23,622</b>	<b>22,492</b>
投資有価証券	12,764	11,002
繰延税金資産	56	450
長期前払費用	8,615	8,866
その他	2,222	2,210
貸倒引当金	△37	△37
<b>資産合計</b>	<b>103,575</b>	<b>102,737</b>

(百万円)

	前期 平成22年3月31日現在	当期 平成23年3月31日現在
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>14,197</b>	<b>12,902</b>
支払手形及び買掛金	4,691	5,297
未払金	3,519	2,805
未払費用	967	1,025
未払法人税等	1,283	598
未払消費税等	300	329
賞与引当金	2,362	2,319
返品調整引当金	25	—
その他	1,047	527
<b>固定負債</b>	<b>9,007</b>	<b>8,142</b>
繰延税金負債	406	0
退職給付引当金	8,230	7,718
その他	371	423
<b>負債合計</b>	<b>2,305</b>	<b>21,044</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>76,033</b>	<b>78,669</b>
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,444	4,444
利益剰余金	68,433	71,108
自己株式	△2,018	△2,058
その他の包括利益累計額	4,172	2,845
その他有価証券評価差額金	4,194	2,880
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△25	△36
少数株主持分	164	177
<b>純資産合計</b>	<b>80,370</b>	<b>81,692</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>103,575</b>	<b>102,737</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 連結損益計算書

(百万円)

	前期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	当期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上	62,932	63,525
売上原価	29,018	30,218
返品調整引当金戻入額	23	25
売上総利益	33,937	33,332
販売費及び一般管理費	27,475	28,151
営業利益	6,461	5,181
営業外収益	1,080	1,140
営業外費用	755	844
経常利益	6,786	5,477
特別利益	206	591
特別損失	—	133
税金等調整前当期純利益	6,993	5,935
法人税、住民税及び事業税	2,601	1,859
過年度法人税等	350	—
法人税等調整額	△68	99
少数株主損益調整前当期純利益	—	3,975
少数株主利益	13	17
当期純利益	4,096	3,958

売上高	63,525百万円	(対前期比	0.9%増収)
営業利益	5,181百万円	(対前期比	19.8%減益)
経常利益	5,477百万円	(対前期比	19.3%減益)
当期純利益	3,958百万円	(対前期比	3.4%減益)

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書(概要)

(百万円)

	前期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	当期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,225	3,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,648	△2,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,318	△1,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△257	△301
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,001	△1,305
現金及び現金同等物の期首残高	15,446	19,447
現金及び現金同等物の期末残高	19,447	18,142

## ● セグメント情報

(百万円)

	前期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	当期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	増減率
医薬品事業			
売上高	52,165	52,554	0.7%増収
営業利益	6,693	4,733	29.3%減益
機能食品事業			
売上高	10,767	10,970	1.9%増収
営業利益又は営業損失(△)	△232	447	—

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務諸表（個別）

## ● 貸借対照表

(百万円)

	前期 平成22年3月31日現在	当期 平成23年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>57,889</b>	<b>59,057</b>
現金及び預金	10,126	10,471
受取手形	227	198
売掛金	24,534	27,317
有価証券	8,895	6,699
たな卸資産	10,461	11,200
繰延税金資産	1,572	14,454
前払金	1,894	1,426
その他	176	288
<b>固定資産</b>	<b>42,619</b>	<b>40,532</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>18,172</b>	<b>17,257</b>
建物	7,214	6,868
構築物	267	236
機械及び装置	1,500	1,184
車両運搬具	9	4
工具、器具及び備品	932	786
土地	8,016	7,999
建設仮勘定	230	177
<b>無形固定資産</b>	<b>639</b>	<b>670</b>
ソフトウェア	573	617
その他	65	52
<b>投資その他の資産</b>	<b>23,807</b>	<b>22,604</b>
投資有価証券	12,761	10,999
関係会社株式	129	129
長期貸付金	614	522
長期前払費用	8,615	8,866
繰延税金資産	—	386
投資不動産	1,288	1,292
その他	435	444
貸倒引当金	△37	△37
<b>資産合計</b>	<b>100,509</b>	<b>99,590</b>

## ● 損益計算書

(百万円)

	前期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	当期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高	62,707	63,253
売上原価	29,263	30,450
返品調整引当金戻入額	23	25
売上総利益	33,466	32,827
販売費及び一般管理費	27,494	28,158
営業利益	5,972	4,668
営業外収益	1,082	1,210
営業外費用	763	837
経常利益	6,291	5,040
特別利益	206	591
特別損失	—	133
税引前当期純利益	6,497	5,499
法人税、住民税及び事業税	2,380	1,630
過年度法人税等	350	—
法人税等調整額	△55	111
当期純利益	3,822	3,757

(百万円)

	前期 平成22年3月31日現在	当期 平成23年3月31日現在
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>14,162</b>	<b>12,943</b>
買掛金	5,100	5,752
未払金	3,422	2,682
未払費用	941	996
未払法人税等	1,126	479
未払消費税等	252	297
預り金	402	395
賞与引当金	2,300	2,250
返品調整引当金	25	—
その他	591	89
<b>固定負債</b>	<b>8,736</b>	<b>7,916</b>
繰延税金負債	406	—
退職給付引当金	8,096	7,572
その他	233	344
<b>負債合計</b>	<b>22,898</b>	<b>20,860</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>73,412</b>	<b>75,847</b>
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,444	4,444
利益剰余金	65,812	68,286
自己株式	△2,018	△2,058
評価・換算差額等	4,197	2,882
その他有価証券評価差額金	4,194	2,880
繰延ヘッジ損益	2	2
<b>純資産合計</b>	<b>77,610</b>	<b>78,730</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>100,509</b>	<b>99,590</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況

## ● 株式の状況

(平成23年3月31日現在)

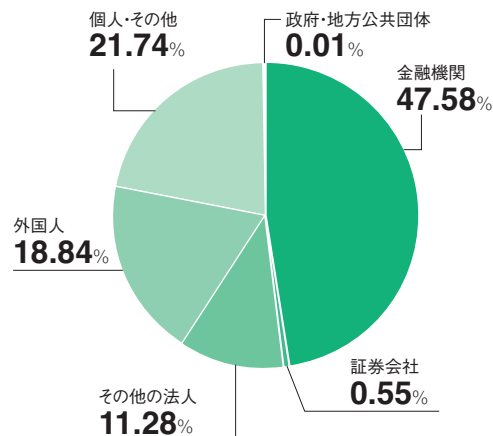
発行可能株式総数	200,000,000 株
発行済株式の総数	70,251,484 株
株主数	5,338 名

## ● 大株主の状況

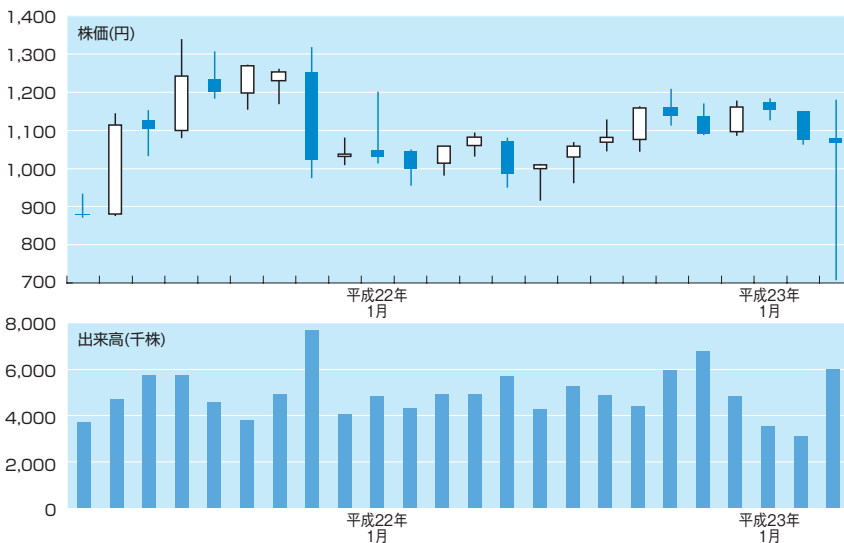
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	6,486	9.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,850	8.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,315	4.91
株式会社京都銀行	3,090	4.58
パーシング ディヴィジョン オブ ドナルド ソンラフキン アンド ジェンレット エスイーシー コーポレイション	3,066	4.54
日本生命保険相互会社	2,974	4.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,573	3.81
東京海上日動火災保険株式会社	1,958	2.90
三菱商事株式会社	1,732	2.57
日本新薬従業員持株会	1,413	2.09

(注)持株比率は自己株式(2,740,568株)を控除して計算しております。

## ● 所有者別株主分布状況



## ● 株価／出来高の推移 (平成21年4月～平成23年3月)



## 1 がん疼痛治療剤「トラマール®カプセル」新発売

当社は、がん疼痛治療剤「トラマール®カプセル25mg」、「同50mg」（一般名:トラマドール塩酸塩）の販売を、昨年9月17日より開始しました。

「トラマール®カプセル」は、オピオイド受容体作動作用及びモノアミン増強作用（ノルアドレナリン及びセロトニン再取り込み阻害作用）により鎮痛効果を示す非麻薬性のオピオイド鎮痛薬です。トラマドール塩酸塩は、世界100ヶ国以上で承認、販売されています。

本剤は、非麻薬性のオピオイド鎮痛薬で、麻薬製剤特有の管理は不要であり、また、効果と安全性のバランスの面から、非オピオイド鎮痛薬と麻薬性のオピオイド鎮痛薬との間をつなぐ、新たながん疼痛治療剤の選択肢の一つになると考えています。



トラマール®カプセル

## 2 骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ®注射用100mg」新発売

当社は、骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ®注射用100mg」（一般名:アザシチジン）の販売を、本年3月11日より開始しました。

「ビダーザ®注射用100mg」は、骨髄異形成症候群（MDS: Myelodysplastic syndromes）治療剤として、セルジーン社（本社:米国ニュージャージー州）とのライセンス契約に基づいて導入した、核酸類縁体のアザシチジンを主成分とする注射用凍結乾燥製剤です。

MDSは、高率で白血病への移行が見られる予後不良の難治性疾患で、国内では難病の指定を受けており、患者数は約9,000人と推計されていますが、有用な治療法は確立されておらず、新しい薬剤の開発が待ち望まれていました。なお、本剤は、欧米をはじめとして世界30カ国以上で販売されており、国内では、2008年11月17日付で希少疾病用医薬品の指定を受けています。

当社は、MDS治療における新しい治療薬を医療現場に提供することで、MDSで苦しむ患者さんやそのご家族、および医療関係者の皆さんに貢献できるものと期待しています。



ビダーザ®注射用100mg

### 3 機能食品カンパニーの事業活動

#### 品質安定保存剤関係

1965年にソルビン酸系保存剤「ネトキラー」、1972年に日持向上剤製剤「K類」を発売以来、当社の品質安定保存剤は、長年に渡り、食品の保存性向上及び日持ち延長のために、幅広く使用されていますが、日持向上剤製剤を使用すると、食品本来の風味に多少影響を及ぼすという欠点がありました。昨年10月、この欠点を独自の製剤技術で軽減した新製品「ミカクファインZ」を発売しました。今後も様々な食品の微生物制御に取り組み、市場ニーズに合った優れた新製品の開発に努めてまいります。

#### 健康食品素材関係

当社では、1998年にインドの機能食品素材「ガルシニアエキス」を発売して以来、日本で馴染みのある健康食材や海外で利用されているハーブなど自然の恵みを活かした健康食品素材の開発に取り組んでいます。

微生物発酵由来の「ヒアルロン酸」は、低分子量化を図り、分子量の異なる3タイプを上市しています。特に低分子量タイプ品は、その吸収性や有効性、食品への応用性などの科学的根拠を立証し、他社品との差別化に努めたことにより、サプリメントからドリンク、そして一般食品へと幅広く利用されています。今後も人々の健康の維持増進に貢献できる健康食品素材を開発してまいります。

### 4 第81回都市対抗野球大会出場 ～10年連続28回目の出場～

当社硬式野球部は、昨年8月27日から東京ドームで開催された「第81回都市対抗野球大会」に京滋奈地区・京都市代表として出場しました。都市対抗野球大会への出場は、10年連続28回目となりました。また、同じく昨年の10月には第37回社会人野球日本選手権大会にも4年連続14回目の出場を果たしています。

また、当社硬式野球部は、社会貢献活動の一環として、小学生や高校生を対象に年数回、野球の講習会を実施しています。今後もこのような機会を積極的に設け、地域のスポーツ振興等に貢献していきたいと考えています。



少年野球教室

# 会社概要 / 役員

## ● 会社概要

創 立 大正8年10月1日  
資 本 金 5,174百万円(東証一部・大証一部上場)  
従 業 員 数 1,680名  
事業内容・主要製品 <医薬品事業>  
泌尿器官用薬剤、炎症・アレルギー用薬剤、血液がん用薬剤、  
循環器系及び代謝性薬剤、消化器官用薬剤  
<機能食品事業>  
調味・香辛料、健康食品素材、品質安定保存剤、たん白製剤、  
ニュートリション素材、除菌・洗浄剤、小麦製品

## 連結子会社

会 社 名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
シオエ製薬株式会社	30百万円	100%	医薬品、機能食品の製造
タジマ食品工業株式会社	50百万円	83.5%	医薬品、機能食品の製造
NS Pharma, Inc.	US\$ 300千	100%	医薬品の導出入・臨床開発業務

## ● 役員 (平成23年6月29日現在)

代表取締役社長	前 川 重 信	(ご参考) 執行役員	櫻 井 太 郎
常務取締役	福 島 和 夫	執行役員	今 野 清 隆
取 締 役	足 立 博 司	執行役員	福 田 吉 孝
取 締 役	由 良 能 郎	執行役員	原 田 博 方
取 締 役	田 中 次 男	執行役員	園 田 滋 樹
取 締 役	松 浦 明	執行役員	二 宮 博 徳
取 締 役	湯 野 哲 康	執行役員	齋 藤 均
		執行役員	小 林 健 郎
常勤監査役	鳥 山 陽 一	執行役員	向 井 英 也
常勤監査役	鵜 飼 洋 司 郎	執行役員	佐 野 省 三
社外監査役	田 辺 保 雄		
社外監査役	鈴 間 能 成		

## 株主メモ

決算期	3月31日
期末配当受領株主確定日	3月31日
中間配当受領株主確定日	9月30日
定時株主総会招集時期	6月(同総会権利行使株主確定日 3月31日)
1単元の株式数	1,000株
公告方法	電子公告により行ないます。ただし、事故その他やむをない事由によって電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (当社ホームページ <a href="http://www.nippon-shinyaku.co.jp">http://www.nippon-shinyaku.co.jp</a> )
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話お問合せ先 0120-094-777 (平日 9:00~17:00)
上場証券取引所	東京(第1部)、大阪(第1部)
証券コード	4516

### お知らせ

株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、連絡先が下記のとおりとなります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
各種お手続きの連絡先	お取引の証券会社になります。	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。 また、各種手続用紙の請求は、お電話ならびにインターネットにより24時間受け付けております。 0120-244-479(東京) 0120-684-479(大阪) <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

(ご注意)いずれの場合も未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。



# 日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

<http://www.nippon-shinyaku.co.jp>

TEL.075-321-1111(大代)



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。



この印刷物は環境に考慮し、大豆インキ・水なしオフセット印刷・針金を使用しない製本で制作しています。

※この用紙費用の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付されています。